

常警文藝

近作一束

不洲坊

(夕の星)

城山上の鐘の聲
我が世を闇に襲へきて
夢より淡き大空に
夕の星は見え初めぬ
永久に變らぬ優しさの
星の微笑見る毎に
過ぎし昔の偲ばれて
今更涙ぐまむかな。

(小鳥)

君知り給ふや
君知り給ふや
今日も来て
裏の小山に
啼ける小鳥あり
君知り給ふや

(俗語)

青葉雨降る日のわびしさ
に死をゆく戀よみかへる
歸へる雁金雨から暮れて
離れ小鳥の戀ごころ
情知らやらくるわの夜雨
蓬ふにあわれぬ袖に降る
憎い水酒酔ふては寝たが
醒めりやまた啼く時鳥

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雑誌が

自由に讀める

平町長橋町三五

川崎回文庫

(申込次第規則書進呈)

五月人形

(小道具一式)

武者人形

座敷

例年の通り目下

賣出中です

是非御用命の程を!!!

銘茶 いづや

平町二丁目百七銀行隣

一、當會社は基礎堅實なる
と營業方針の簡便にして
極めて民衆的なることが故
に全国各地支社出張所は
社會から深厚なる信用を
得偉大なる發展をなして
居ります
二、今度業務擴張のため左
記場所へ支社を設置致し
ました
三、就はこの簡便有利なる
利殖金融機關を御利用せ
られん事を御勧め致しま
す
四、皆様の御考へ以上にき
つと御満足を得らるゝ事
と信じて居ります
五、詳細は社員を御伺ひ致
させますから御尋ねくだ
さい
東京恒産合資會社
警城支社長渡邊富太郎
本社 東京市四谷區新宿二丁目
支社 平町驛前 電話 六番

江かばやき

前うらあ井

新築落成しました

相變らず御注文の際は

電話四二四番を

御利用下さい

仕出し魚榮

平町二丁目北裏通

開店御披露
買イ好イ店
良品ヲ安ク賣ル
クースーリ
クースーリ
関内菜舗
蒸劑師 関内栄助
電話四〇番

秀優群抜
千代田火ノシ!
富貴コテ!は
平町五丁目
釜屋商店
和洋銅鐵
金物問屋
電話(國)九番
(一三九番)

見よ帝キネ黄金時代の出現
陸軍省後援の許に一箇師團出動
櫻井中尉の名著...血湧き肉躍る
肉彈
思ひ起す明治廿七八年シベリアの屍山血
河にたはれし護國の勇士が肉彈を見よ!!!
連続大時代劇
花の春遠山櫻
上七中
映卷篇
外數番

東新株 先限
前場後場共入電致居候
平町田町 電話三三二番
丸登株式店
川添房二郎

常警新聞
發行編輯人 川崎文治
印刷所 常警新聞社
福島縣石城郡平町字長橋町廿五番地
印刷所 一〇活版所

所謂排日の原因(五)
不攀山人
次でメキシコと戦つてテキ
サス、ニューメキシコ、上
カリホルニアの諸州を割讓
させロッキー以西太平洋岸
一帯の地を領し最早や大合
衆國の基礎は充分に出來た
ので横暴にも此の聲明を爲
したのであります
然も其後の米國はごんな行
動を採つたか彼は成程歐洲
には其浸異の手を伸ばさな
いがハワイを併呑し更に廿
四五年前にはスペインの殖
民地であつたピリッピンを
煽動して反スペイン勢を高
調させ其混亂に乗じて遂に
之を屬國として仕舞つたの
でしたが間もなく之をも併
呑して了つたのであります
ひるがへつて他の諸國は今
迄ごんな事を爲し來たつた
か、我國が鎖國主義を採つ
てる時代歐洲諸國は競ふて
新陸地の發見と殖民地の建
營に吸々として居たと云ふ
事は等しく歴史の證明する
處であつて彼のコンブス
のサンバルバトル、キュー
バ島の發見を遂げて以來亞
米利加大陸の發見となり、
極度の殖民熱の此の時代に
煽られたものであります
イスパニヤが中央亞米利加
は或は南米にオランダが一

六五〇年の獨立宣言以來漸
時東航してジャバ地方より
臺灣澎湖島を占領し或は英
國が北米東岸に或は印度に
佛國が北米の中央部に或は
支那に盛んに殖民し乍ら皆
之を浸畧したので殆ど歴史
は浸畧を以て彩られて居る
のであります
殊に彼の露國等は文久元年
露艦ホザートニックを我對
馬の近海に派遣して其邊一
帯を測量させ其上芋崎、古
里浦に無斷上陸し木を伐り
小屋を建て然して後對馬候
に對して船舶修繕の爲め必
要な土地を借り度いと強請
したのであります

石炭の現在市況は

戦争當時の半値に低落

出炭制限は全々有名無實

粉炭の前途は小康

石城市場は既報の如く依然として粉炭過剰塊炭不足の状態であるが不需用期に入つた爲め粉炭は勿論塊炭も弱保合を示し粉炭一等炭は若松渡し一噸十圓から十二圓程度塊炭一等炭は同十二圓五十錢から十五圓見當を唱へられ戦争當時の粉炭一等炭二十四五圓塊炭同二十八九圓に比すれば半分以上の低落を來してゐる、鑛主聯合會は曩に出炭制限を行つたが最近に至つて炭價低

一臺の飛行機から

軍用鳩を放つて研究

下志津飛行學校の試み

小名濱町にて開始

千葉縣下志津陸軍飛行學校では飛行機から放つ軍用鳩の効力について研究中であつたが鳥に對する訓練にも相當の

自信を得て廿九日から六月十二日まで本縣石

從來は主として地上に於て使用し來つたが本年二月下志津名古屋間で機

上から試験を行つた所がそれは殆んど失敗に歸した今回の試験は

機上用 鳩を地上から地上用鳩を機上から各々

畫である爲め極力是れを應援すべく決したが特に右義勇團の趣旨に賛意を表せる帝國館にては其純益を割いて基本金に寄附する由を申出られた

此處にも

横着な居寝り助役が

車掌に叩き起されて驚く

植田驛の大失態

廿九日午前一時頃常磐線で第九五八號列車が泉驛を五

竹刀の長さ決定

三尺八寸が限度

最近武道熱の勃興につれて徒らに勝負に拘泥し本來の精神にそはぬ弊害が多くなつて來た、例へば竹刀を長くし目方を軽くするものがおほくなつて來たなどその一例である武

肥料が豊富

各濱の忙しさ

石城郡沿岸に於ける鰯漁は近來稀に見る豊況でこれが爲め肥料に搾製されるもの頗る多額に上り目下これが検査に従事する係員も多忙を極めつつあるがこの際縣検査員の指導を受けることは特に必要だといふので本縣肥料検査員の派遣方を請ひ

カテイラン

きやらぶき煮

山ぶきの軟らかいのを皮のまゝ一寸位に切り、鍋に入れてざつとゆでてよくその汁をしぼり、醬油をさしお砂糖も少し入れて煮ます。煮てゐるうちにふきから水が出て汁が澤山になりますが、それを弱い火でゆつ

玉子の厚焼

玉子の厚焼は一人前二箇くらゐの割に玉子をほぐし、一人前につき大サジ一杯の

一層優良肥料の製産を努力してゐる

不平受付

投書歓迎

使用した夜具其他は其儘つたりする様ですが其爲めに一層他に病菌を傳渡する恐れがあると思ひますから役場では死亡届を見て傳染病であつた場合は是等を充分注意する様にしては如何でせう(心配生)

界マネキ

「肉彈來る」今晚から帝國館にてはフアンの熱狂的歡迎を受けて「肉彈」を上映することとなつたが同映畫は櫻井中佐不朽の大作として世界の讀書界を驚倒せしめた著書に基き陸軍省後援の許に畫面中に一ヶ師團の軍隊を出動せしめ帝キノの心血を注いで撮影した血湧き肉躍る傑作であるが此外先週よりの連続時代劇「花の春遠山櫻」は益々佳境に入つて大活劇の場面展開され觀客の心膽を突かしめ又喜劇實寫等何れも劣らぬ映畫揃である

常磐片々

○ 驛員の舟漕ぎ大流行、植田驛でもコクリ、コクリ、

○ これじやあ列車事故頻發も無理がない

○ 流車で旅に出る際に水盃を要す

○ 鎌田の苗代灌漑水はお白粉のとき水でなくてアソコの水と判明

○ 何れにしても甘さ加減は大同小異

汗を流して少しく鹽辛くするより外に方法はないと

平青年團の

海軍 決算

純益四百圓

平青年團が基本金造成の爲めに試みた海軍思想涵養活動寫眞會は此程決算済となつたが純益四百圓以上に達したと

苗代に崇る

アソコの水

土管で防ぐ

既報平町鎌田附近苗代全減に關し農事試験場水質檢

兒童保護總會 平町兒童保護會の會長は新田目善次郎氏副會長には清野才三氏と決定したが本日午前九時から平第一小學校にて第一回總合を開き約四百名が參加したと

魚から取る

肥料が豊富

石城郡沿岸に於ける鰯漁は近來稀に見る豊況でこれが爲め肥料に搾製されるもの頗る多額に上り目下これが検査に従事する係員も多忙を極めつつあるがこの際縣検査員の指導を受けることは特に必要だといふので本縣肥料検査員の派遣方を請ひ

肥料が豊富

各濱の忙しさ

石城郡沿岸に於ける鰯漁は近來稀に見る豊況でこれが爲め肥料に搾製されるもの頗る多額に上り目下これが検査に従事する係員も多忙を極めつつあるがこの際縣検査員の指導を受けることは特に必要だといふので本縣肥料検査員の派遣方を請ひ

カテイラン

きやらぶき煮

山ぶきの軟らかいのを皮のまゝ一寸位に切り、鍋に入れてざつとゆでてよくその汁をしぼり、醬油をさしお砂糖も少し入れて煮ます。煮てゐるうちにふきから水が出て汁が澤山になりますが、それを弱い火でゆつ

玉子の厚焼

玉子の厚焼は一人前二箇くらゐの割に玉子をほぐし、一人前につき大サジ一杯の

汗を流して少しく鹽辛くするより外に方法はないと

平青年團の

海軍 決算

純益四百圓

平青年團が基本金造成の爲めに試みた海軍思想涵養活動寫眞會は此程決算済となつたが純益四百圓以上に達したと

苗代に崇る

アソコの水

土管で防ぐ

既報平町鎌田附近苗代全減に關し農事試験場水質檢

ら平署樓上にて執行受驗者十二名あつた由

ヒロイモノ △警城高等女學校二年生宮内キノ子は廿九日城山ラジウム湯前にて九圓六十二錢在中の

墓口△平町北目町鈴木牛乳店片寄半三郎氏は廿九日八幡小路にて銀腕時計△新川町小野徳五郎氏は廿八日同町にて二圓五十五錢在中の黒皮製墓口△同町貝塚三郎氏は廿八日田町にて一圓四十三錢在中の墓口△神谷村木村傳藏氏は仲間町踏切にて十一圓二錢在中のワニ皮墓口△一丁目丹野文次郎氏は廿六日三井吳服店前に

平町の膨張

十年後には 三萬三千人

平町役場最近の戸口調査によれば戸數四千二百九十八戸人口二萬四千四十二人で今を去る十年前は人口僅か一萬八千三百七十七人であるから十年間で約六千人増加を見てゐる此割合で此後十年目には三萬三千人以上に及ぶであらうと